

第4回(6月)定例会

令和5年6月21日~23日

7億9千806万2千円を追加補正
農業経営支援、商工業振興対策など

令和5年第4回清里町議会定例会

令和5年第4回定例会は6月21日に召集され、会期を23日までの3日間と決め、初日の21日は人事案件、条例改正、契約締結など8議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、町政執行方針及び教育行政執行方針演説、4名の議員による一般質問が行われました。
22日から23日までは、当初予算の肉付け予算となる令和5年度一般会計及び2特別会計の補正予算審議、総括質疑が行われました。その後、令和5年度補正予算、議会関係議案を可決し、閉会しました。

補正予算

◆一般会計(第2号)

今回の補正は、骨格予算として編成した令和5年度当初予算に、新たな政策のための予算等を追加した肉付け予算として編成するほか、令和4年度繰越し剰余金の確定に伴う、繰越金等の関係予算の整理です。

主な補正事業

- 旧江南小学校等解体設計業務委託事業 595万1千円
- 基金積立事業 1億4千700万円
- 防災訓練事業 167万1千円

- 図書館システム機器更新事業 320万円

◆簡易水道事業(第1号)

上下水道使用料の消費税インボイス制度対応に係る料金収納システム改修業務委託のほか、道道摩周湖斜里線の歩道整備に伴う水道配水管移設工事の補正です。

◆農業集落排水事業(第1号)

地域交流拠点施設建設にかかるとる公共柵新設工事の補正です。

補正予算質疑の主な内容

■旧小学校解体設計業務委託料
質問 旧江南小学校解体の設計費だが、旧緑町小学校、旧光岳小学校は今後どうする考えか。



会計名	補正額	総額
一般会計(第2号)	7億8,909万2千円	57億8,914万4千円
簡易水道事業(第1号)	817万円	6,801万7千円
農業集落排水事業(第1号)	80万円	2億682万9千円

- 町民会館維持管理(冷房設備設置)事業 291万円
- 行政基幹システム改修事業 1千114万6千円
- 移住定住促進交付金事業 377万円
- 地域公共交通計画策定事業 165万円
- 地域交流拠点施設整備事業 455万5千円
- デジタル社会実現に向けたDX推進事業 2千万円
- 戸籍システム改修事業 552万2千円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業 1千750万円
- 清里町福祉医療従事者人材確保支援事業 300万円

■町有林管理事業
質問 植樹祭後の樹木の管理が適切に行われていないのではないか。
答弁 過去植樹祭等で植林した場所を点検し、適切な管理に努めたい。

■町有林管理事業
質問 植樹祭後の樹木の管理が適切に行われていないのではないか。
答弁 過去植樹祭等で植林した場所を点検し、適切な管理に努めたい。

■町民会館冷房設置工事
質問 町民会館だけでなく、冷房未整備の施設があるのであれば早急に整備すべきでは。
答弁 現在役場冷房設備の整備を進めており、合わせて整備できるといことで、今回町民会館の設置費を計上。学習センター、保健センター等の未整備スペース等も計画的に設置を進めたい。

■行政基幹システムの情報管理
質問 情報セキュリティ対策の内容、考えを伺いたい。
答弁 情報システムごとに担当



者しかログイン等できないようアクセス制限をかけている。情報セキュリティポリシーにより各種対策を講じているが、より安全な対策を検討していく。

■日本で最も美しい村推進事業
質問 今後の本事業への取組みの方向性は。
答弁 自ら清里町が手を挙げて参加した経過や昨年の加入の再審査を受けたこと、また、どこまで町民の方を巻き込んだ運動になっているかということも含め、今後しっかりとした検証を行い、方向性を判断したい。

■商工業振興事業補助(きよポンチャージ還元事業)
質問 4月~10月までの7ヶ月間の消費喚起事業だが、その後の支援策の考えは。

補正予算審議

- 森林整備推進事業 581万2千円
- 商工会補助・商工振興補助事業 1千998万3千円
- 店舗改修等支援事業 280万円
- 地域貢献型スタートビジネス支援事業 357万9千円
- 住環境づくり促進事業 600万円
- 観光協会補助事業 468万円
- 産業まつり実行委員会補助事業 500万円
- 道路橋梁維持補修事業 3千29万6千円
- 公営住宅建設工事実施設計業務委託事業 592万9千円
- 住宅用太陽光発電システム導入費補助事業 240万円
- 教職員住宅新築工事実施設計業務・教職員住宅修繕事業 1千888万9千円
- 小学校・中学校GIGAスクール授業支援備品(電子黒板)購入事業 349万8千円
- 清里みらい塾事業 118万3千円

総括質疑

補正予算審議

議員 執行方針の中で述べられ

雇用の創出



岡本英明 議員

議員 整備計画が止まったままだが、どのような考えか。早急に進めてほしい。
町長 林野庁等との協議が不調で、事業に着手出来ておらず申し訳なく思っている。阿寒摩周国立公園に当該地が編入されたこともあり、広域的な観光の動きを受け止める必要がある。自然環境に配慮した整備の可能性について、どうい

神の子池整備



村島健二 議員

議員 当初の整備計画より遅れていると認識しているが、今後開園に向けてどのように進めていくのか。
町長 令和8年度の開設に向けて準備を行うと説明している



た形であれば推進できるのか、しっかり基本に立ち返って検討を行いたい。

認定こども園整備

議員 現在の働いている若い人たちの雇用の継続的な確保と合わせ、新たな人材の呼び込み、地元出身の子供たちや若者の働く場の意図的な創出、人材の発掘・養成、アウトソーシングの手法の見直しの検討等、町の立場に

ている「地域循環型経済と若者雇用創出への取組み」について、どのように進めていく考えなのか伺いたい。
町長 現在働いている若い人たちの雇用の継続的な確保と合わせ、新たな人材の呼び込み、地元出身の子供たちや若者の働く場の意図的な創出、人材の発掘・養成、アウトソーシングの手法の見直しの検討等、町の立場に

奨学金制度

議員 執行方針の中で「町奨学金制度の見直し充実」とあるが、新たな奨学金制度を設ける考えなのか、それとも現在の制度の

において、「支援するもの」、「新しく起こしていくもの」等、官民の役割をしっかりと捉えながら取組みを進めていきたい。

町長 整備には約1億円と試算している。1線道路等の整備の要望も含め、整備が必要な場所が多くあると認識しており、全体的な道路整備の優先度や新たな補助事業等の導入に向けて準備を行う中、課題の一つとして捉えさせていただきたい。

道路整備事業

議員 過去に一般質問もした経過があるが、農道1線、2線間の18号道路の舗装整備を進めてほしい。
町長 整備には約1億円と試算している。1線道路等の整備の

議員 土地の賃貸契約が終了し、建物も町へ譲渡されたと聞いている。今後建物等はどのように考えるのか伺いたい。
町長 なるべく早い段階で取り壊しを行い、駐車場として活用できる形にしたい。

旧福の湯の建物処分

議員 高齢者宅等の冬季の除排雪

町長 奨学金の返済が若い世代の大きな経済的負担になっており、それが少子化の要因の一つとされる若者の未婚化に影響を与えていると言われている。国においても、返還期限等の猶予や返還不要の奨学金の創設等、制度の見直しの動きが活発になってきている。人材の呼び込



答弁 燃料や電気代の高騰により町民の生活が厳しい状況であり、情勢を見極めながら、どのような形の支援がいいのか十分に検討したい。

住環境づくり促進事業

議員 住宅解体及び住宅改修事業の補助率アップや予算枠を増やすなど、事業の拡充をすることはできないか。
答弁 徐々に需要の増えている事業であり、状況によって補正予算で対応するとともに、より良い住環境施策を模索したい。

公営住宅建設工事実施設計業務

議員 老朽化している公営住宅入居者の移転先として住宅建設を予定しているが、新設ではなく、空いている住宅への住み替えの優先等、公営住宅全体の利活用を図るべきでは。

答弁 高齢者等の入居実態をみた場合、移転先の確保、政策空き家を集約しての修繕等、総合的に判断し、新しい住宅の建設を予定している。今後、政策空き家の利活用も含め、良質な住環境の整備や定住人口の拡大等の課題解決等に向け、積極的な住環境政策に取り組みたい。

再生可能エネルギー導入促進事業

議員 太陽光パネル設置への補助事業だが、今後改修や撤去に伴う支援は考えているか。
答弁 今後の課題と認識しており、こういった形が適切なものか検討する。

GIGAスクール授業支援備品(電子黒板)購入事業



議員 具体的な事業の進め方は。
答弁 まちづくりをテーマとして、概ね18歳から40代までの若者を中心に、講演会やグループワークを行う。アーカイブ的な学習プロットの構築を初年度に行い、3年間程度のスパンを考えている。
議員 意欲のある高齢者等も含め、多くの方が学べる形がいいのでは。

清里みらい塾事業

議員 生涯学習支援事業(人材育成) 人材育成等を目的等として各種団体補助が計上されているが、予算的には今までと同じで、人材育成を積極的に進める本気度が見えないか。
答弁 会員数の大小の発想ではなく、今後の可能性、将来に対する投資の観点からしっかりとした支援を行っていききたい。

議員 必要であれば教育環境に差が生じないように、全教室分一遍に予算措置をしてもいいのでは。
答弁 財政的な面もあって計画的に購入を予定しているが、児童数の推移を見ながらできるだけ早い段階で予算化したい。



答弁 みらい塾は、若い年代と一緒に語り、考える場とし、高齢者の方は違う学びの場への参画や、応援する側に回る形が望ましいと考えている。

各体育施設の整備

議員 今回町民グラウンドの屋外照明の修繕が計上されたが、野球場、スケートリンクのトイレなど、他の施設についても優先順位を付け、計画的に整備してほしい。
答弁 老朽化が進んでいる施設が多いが、安全安心に使えるよう、適宜修繕、環境整備を進めていきたい。

議案審議

総括質疑

み、Uターンしやすい環境整備のため、現在教育委員会で行っている奨学金制度の見直しとともに、全体的な人材確保のための新しい手法にも前向きに着手していきたいと考えている。



積極的な財政出動

議員 執行方針の中で、「現況の地域経済や雇用と町民の暮らしの安心を支えるためには、当面は積極的な財政出動が強く求められている」としているが、何に重点を置いて積極的な財政出動をする考えか。
町長 特定分野でなく、経済や暮らし、あらゆる分野にわたり、町がしっかりとイニシアチブをとりながら財政的な投資を行っていききたい。

地元での就職、清里町に来てもらうための施策について、教育委員会だけでなく、総体的に再構築する時期にあると判断している。

物価高騰対策

議員 昨年実施した「農業・畜産業に対する肥料・飼料価格高騰対策」について、若干価格が下がっているとはいえ、高止まりの状況も踏まえ、今年度はどうする考えなのか伺いたい。

防災と消防拠点機能

議員 執行方針の中の「防災と消防拠点機能の整備」とあるのは、消防庁舎の建て替えを念頭に考えているのか。
町長 消防庁舎を念頭に置き、方向性を早い段階でまとめ、防災機能との連動も考えていく。



子育て支援地域クーポン

議員 現状、どのような取組みを想定されているか。
町長 子どもたちのおむつやミルク等に充当できる子育て支援

条例改正

◆清里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
こども家庭庁設置法の施行による「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」の一部改正に伴う条例改正です。

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任
6月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の後任として、津田敏文氏（上斜里西）の選任に同意しました。
◆固定資産評価員の選任

契約

- ◆1線大橋補修工事
●契約方法 指名競争入札
●契約金額 6千787万円
●契約の相手方 野村興業株式会社
- ◆清里地区農業集落排水事業処理施設改修工事
●契約方法 指名競争入札
●契約金額 9千339万円
●契約の相手方 北海道富士電機株式会社
- ◆職員単身者住宅建設工事
●契約方法 指名競争入札
●契約金額 6千710万円
●契約の相手方 株式会社 石井組



報告

- ◆令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書
令和4年度の予算で、諸事情により、年度内に事業が完了しないため、予算の執行を令和5年度に繰り越しました。
●翌年度繰越額 4億8千158万9千円
- 繰越事業
・行政基幹システム標準化共通化移行事業
・マイナポイント支援事業
・地域交流拠点施設整備事業
・清里町地域脱炭素戦略策定事業
・マイナンバーカード普及促進事業
・新型コロナウイルスワクチン接種事業
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
・保健福祉総合センター温泉井湯湯試験事業

議員派遣

議員の知識・見聞を広げ、議会の活性化に資すること等を目的とした「北海道議会議員研修会」（7月4日～5日・札幌市）、

「騰対策」について、若干価格が下がっているとはいえ、高止まりの状況も踏まえ、今年度はどうする考えなのか伺いたい。
町長 農協等と連携し、今後の国の物価高騰に対する支援制度の内容、物価の動向をしっかりと見極め、適切な時期に適切な支援を行っていききたいと考えている。

を行っていききたい。
議員 経済的支援だけでなく、子育てしやすい環境施策等も必要と考えるが。
町長 認定こども園の整備、ファミリーサポート事業の充実等、ソフト、ハード両面での子育て環境の整備を図る。

児童生徒の地域活動

議員 部活動の地域移行も含め、どのような支援強化を図る考えなのか伺いたい。
町長 子どもたちがスポーツや文化等の地域活動を行える環境を地域全体で作ることが必要。まずは、学校、地域、保護者、行政が協議する場を設けたい。
教育長 国は令和7年度までに土日の部活動を地域に移行するよう示しているが、都市部と農



村部では対応に差があり、流動的な動きが生じると捉えている。運営・実施主体の整備、指導者や活動場所の確保、保護者の費用負担の軽減等、多くの課題があり、関係機関等と方向性について協議していききたい。

学校の跡地利用

議員 江南小学校解体に係る設計費が計上されたが、旧緑町小学校と旧光岳小学校の今後の活用の方を伺いたい。
町長 民間や地元も含めて産業や経済的な活用の方策が見い出せれば望ましいと考えているが、中々簡単ではない。しかし、簡単ではないからとあきらめるのではなく、投げかけ、内部的な協議も含め、何ができるか、もう少し時間をいただきたい。

「新任議員研修会」（7月25日・釧路市）に議員を派遣することに決定しました。

常任委員会 議会閉会中の継続調査事件

総務文教常任委員会

- 1 町行政一般について
- 2 企画財政について
- 3 商工・観光振興について
- 4 教育行政について
- 5 その他所管事項について

産業福祉常任委員会

- 1 福祉・保健医療について
- 2 農林業振興について
- 3 建設・上下水道について
- 4 環境衛生について
- 5 その他所管事項について

一般質問

柏木繁延 議員

町長 住民自治の本質からも、第1に町民皆さんの意思をしっかりと受け止め、尊重するという姿勢を持つことが肝要だと認識している。町の舵取り、町政運営の最高責任者として、「時代の変化が激しい今日、現在と将来の清里町に必要な施策や投資は何かを見極め、その場面場面に必要な最終的な判断は自らが責任を持ち、その結果責任も常に自らに課す」、そうした姿勢で臨まなければならぬと考えており、その覚悟を持ってこの4年間の町政運営に当たりたい。



町長 政策や施策・事業に至る過程や議論の経過を広く町民に伝えることが、結果としてまち

議員 最高責任者としての理念や町政の在るべき姿が町民、職員に理解されてこそ、信頼される行政運営が可能となる。その思いを伺いたい。

町長 新型コロナウィルス感染

議員 まちづくりを取り巻く行政需要、行政課題は複雑化・高度化しているが、町民が納得した形でまちづくりに参加することが持続可能な町をつくる第一条件と考える。開かれた町政の推進にあたり、「町民皆さんの意見を十分に参考にして」という言葉が常套句として使われることがあるが、町民意見を集約する方法として、新たな考えを持っているのか伺いたい。



町長 新型コロナウィルス感染

議員 今年度も役場に新人の方が数名入られたが、管理職は「職員を育てる」という意識を持つことが大事な第一歩である。管理職の下に何十年と育てていく職員がいることを理解して育成してほしい。

一般質問

河口 高 議員

議員 町長が掲げているとおり「人づくり」、「人を育てること」が町の財産で、人材育成は持続可能な町をつくる上で非常に大切なことだと理解している。言葉では簡単だが、どのような考えで地域の人材育成を進めるのか。



町長 職場のリーダーである管理職は、まちづくり、行政、業務の目標に対して、また次世代の人材の育成、職場の雰囲気づくり等において大きな役割と責任を負っている。管理職の持つその姿勢や意欲等の全てが、下で働く職員に伝搬していくことをしっかりと再度自覚した中で役割を担ってもらおう。



一般質問は要約しています。清里町議会 YouTube をご覧ください。

町長 まずは次世代の人材育成を最優先に「清里みらい塾事業」の拡充や社会教育事業を通しての育成、掘り起こしをするべく、本定例会の補正予算にも一部計上した。

町長 「職員の組織や仕事への貢献意欲を高めることで、能力を最大限に引き出し、発揮させ、職員の成長が組織力の向上につながり、ひいては町民の福祉向上や地域振興に資する」、このことが町職員の人材育成の最大の目標と考えている。

町長 国では、仕事で新たな知識やスキルを取得する「リスキリング」に力を入れてきている。町としては、このリスキリングにどういう形で取り組む考えなのか伺いたい。

町長 行政に今求められているのは「説明責任と行動力」であり、町民も含め、立場の違う相手に意をしっかりと伝えることが入り口になる。プレゼン能力等をしつかりと身につけられる機会づくりを今後検討したい。

町政運営の基本理念について

議員 4月で選ばれた町長が6月に政策予算を提示しなければならず、この短期間で古谷町長の考えを予算に反映できたか。

町長 昨年10月、岸田首相は主にDX化推進のためのリスキリングにおいて、5年間で1兆円の財源を投入し制度の創設や施策を行うと表明した。役場職員、また地域においても、時代の流れとして、リスキリングの考え

町長 行政に今求められているのは「説明責任と行動力」であり、町民も含め、立場の違う相手に意をしっかりと伝えることが入り口になる。プレゼン能力等をしつかりと身につけられる機会づくりを今後検討したい。

一般質問

畠山 出 議員

町長 本年度、清里町商工振興計画の計画期間の最終年度となることから、まずは現行計画の反省・評価をしっかりと行った中、商工振興を取り巻く課題を整理し、行政や事業者のみならず、その課題を地域全体で共有していく必要があると認識している。

また、コロナ発生を経て、それ以前の状態に戻りつつある地



町長 条例には、一般的な理念型と実効性を担保する総合型の二つがある。商工関係者において、どちらの条例を必要とされているのかを把握した中で、町としての今後の対応を図っている。

議員 本条例は理念条例になると思われ、反省・評価をしてから条例制定とのことだが、町、事業者が理念を共有するために条例制定を先に言い、それから反省・評価がいいのではと考えるが。

町長 条例には、一般的な理念型と実効性を担保する総合型の二つがある。商工関係者において、どちらの条例を必要とされているのかを把握した中で、町としての今後の対応を図っている。

町長 次期計画には、空き店舗対策を始めとする既存課題の解決に向けた施策をはじめ、感染症やドラッグストアの出店の影響等も加味しつつ、地域経済の維持、加えて好循環に向けた実効性ある計画の実現に取り組まなければならないと考えている。本年度は、町をはじめ商工会を含む関係機関各々と全体での計画の反省・評価を行い、令和6年度中にしっかりと策定できる環境を整えていきたい。

町長 次期計画には、空き店舗対策を始めとする既存課題の解決に向けた施策をはじめ、感染症やドラッグストアの出店の影響等も加味しつつ、地域経済の維持、加えて好循環に向けた実効性ある計画の実現に取り組まなければならないと考えている。本年度は、町をはじめ商工会を含む関係機関各々と全体での計画の反省・評価を行い、令和6年度中にしっかりと策定できる環境を整えていきたい。

議員 今年が計画期間の最終年度であり、本来であれば、今年度中に次期計画の策定作業に入ると思っていたが、今年度の予算に計上されていない。本町の商工振興の具体的な施策を実現するための重要な計画と捉えるが、計画の今後についてどのように考えているか。

町長 現状の厳しい中小企業の姿を見るに単に理念だけでいいのか、政策展開ができるか一定の方向を含んだものがないのか。商工関係者が理念だけでいいというのであれば、またそこでしっかりと議論をさせていただきたいと思っている。



町長 計画が無くなるのではなく、令和5年度までの計画を1年引く張る形と認識してほしい。現行の計画に織り込んでいくものは、令和6年度においてもしっかりとその課題を捉え、施策展開をする考えである。

町長 計画が無くなるのではなく、令和5年度までの計画を1年引く張る形と認識してほしい。現行の計画に織り込んでいくものは、令和6年度においてもしっかりとその課題を捉え、施策展開をする考えである。

議員 目指すべき指標が1年無くなるというのは少し寂しい気がする。令和6年度の策定に向け、スタートは早く切ってもらいたい。

一般質問

近藤 博 議員

議員 優良農家が高齢化や後継者がいない等の理由で経営をやめる事例が出ている。担い手対策として、美幌町のみらいセンターや清水町のアグリハートセンターのような施設を持ち、研修や実習生を受入れ、第三者継承や法人化を進める事例がある。また、コントラクターや業務の委託事業化なども考えられるが、本町は今後どこまで踏み込んだ対策を行う考えか。

町長 本町に何が足りないのか、真に必要なものは何かをしっかりと整理し、農協や農業委員会などの関係機関と連携し、研修制度や新規就農につながる新たな仕組みづくりを考えていきたい。コントラクター等による労働力の提供、負担軽減の必要性も認識しているので、研究させていただきたい。

議員 大規模経営だけでなく、小規模面積でも収益の上げられる形を模索することが、農家戸数維持につながると考えるが。

議員 優良農家が高齢化や後継者がいない等の理由で経営をやめる事例が出ている。担い手対策として、美幌町のみらいセンターや清水町のアグリハートセンターのような施設を持ち、研修や実習生を受入れ、第三者継承や法人化を進める事例がある。また、コントラクターや業務の委託事業化なども考えられるが、本町は今後どこまで踏み込んだ対策を行う考えか。



町長 大規模、中規模、小規模が共存できる手法論の検討が必要と認識している。農家の減少は、当然人口減少にも及び、さらには、医療や福祉、教育、全ての面に影響する。農業委員会、町、農協、それぞれの立場の中でしっかりと今後の在り方を議論させていただきたい。

新たな品目等の創出

議員 本町は麦類、馬鈴薯、てん菜の3品目で輪作体系を維持してきたが、3品目では輪作が上手く回らず、病害虫の増加につながっている。各作物の安定作付、安定収益を確保するためにも、豆類、休閒緑肥などの4作目の確立や第5の作物の導入が重要ではないか。

町長 長らく3作での輪作体系を構築し、大規模農業を進めて

農業・農村景観の維持

議員 本町は、整然とした農地と耕地防風林により平成3年に「農村景観百選」に選ばれている。防風林は「収量が落ちる」等のデメリットがあると言われるが、「作物を風害から守る」等のメリットもある。美しい景観づくりのためにも、必要な場所に防風林を設置できる対策が必要ではないか。

町長 耕地防風林は、国有防風帯と私有地における補助的な防風林によって構成され、過去の風害、農地保全、環境保全、水源保全等の意味においても貴重な役割を担ってきた。新たに求められる環境保全型農業の動向や多面的な機能の視点に立



議員 防風林伐採後の根や枝等の処理が大変だが、期間を設けてでも焼却処分はできないか。

町長 廃棄物処理法上の問題として、焼却はできない。どういう形であれば残材を処理できるのか検討していきたい。

議員 山岳地帯、生産力の劣る畑、鳥獣被害の多い畑等、優良耕作地ばかりではない。今後、耕作放棄地が出た場合、広葉樹を植え、食料増産が必要ときに畑に戻すような考え方はできないか。

町長 目先だけではなく、10年20年先を見据えた方策も重要だと考える。具体的に展開ができるのか、政治的な働きかけも含め、今後検討したい。